

# スポーツ施設の整備について

【担当省庁】文部科学省、国土交通省

京都府では、ハードソフトのスポーツ振興策を「京都・新スポーツビジョン」として推進していますが、更なるスポーツ振興を図るため、府立運動公園の施設整備及び専用球技場の新設について、以下のとおり要望いたします。

## 1 専用球技場の新設

- 青少年のあこがれの舞台となるよう、現在、京都府が調査を進めている専用球技場の新設事業について、「スポーツ振興くじ助成金交付事業」に採択いただきたい。

## 2 京都府立運動公園の整備

- 全国的に見ても整備が遅れ、厳しい状況にあるスポーツ施設の充実のために京都府が取り組んでいる以下の府立公園の施設の再整備事業について、同公園は「広域防災拠点」にも指定しており、「社会資本整備総合交付金」などの重点配分や「スポーツ振興くじ助成金交付事業」に採択いただきたい。

また、木津川右岸運動公園の整備に支援いただいているところであるが、平成 25 年度に一部開園を目指しており、更なる支援をいただきたい

▶**京都府立丹波自然運動公園**：「**京都トレーニングセンター構想**」  
中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点整備

▶**京都府立山城総合運動公園**：「**京都スポーツヒル構想**」  
府民の多様なニーズに応じたスポーツ活動拠点整備

▶**木津川右岸運動公園**  
平成 25 年度一部開園（城陽市）に向けた更なる支援

<スポーツ振興くじ助成金 (toto) 交付事業>

◎大規模スポーツ施設整備助成

スポーツ振興投票対象事業を実施する競技場の新設事業に係る工事費等を助成する。

◎スポーツ施設等整備事業

住民の身近なスポーツ活動の場となる施設整備に係る工事費等を助成する。

<国土交通省の概算要求>

◎社会資本整備総合交付金

活力創出、水の安心・安全、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を総合的・一体的に支援する。

**京都府の現状・課題等**

◆ 専用球技場の整備

**目的**

- 国際的、全国的な試合に対応でき、多種目にも対応できる専用球技場を整備する。
  - スポーツを通じた青少年の健全育成 (青少年の夢となる施設)
  - 防災機能など複合的な機能も想定

**整備場所**

亀岡市

**整備概要**

- 収容規模 25,000人 (J1レベル)
- 用途 サッカー、ラグビー、アメフトの専用球技場
- 全席屋根付き
- 整備スケジュール 基本設計・実施設計 平成25、26年度  
(予算額概算 約4億円)
- 建築工事 平成27、28年度  
(予算額概算 約120億円)
- 京都サンガがホームスタジアムとする予定

◆ 京都府立運動公園の整備

京都府の取組

京都府立丹波自然運動公園及び山城総合運動公園において施設再整備計画を策定

※当面の必要事業額 24 百万円 (国庫 12 百万円)

(H24～H28 事業費見込み 約 24 億円)

■ 京都府立丹波自然運動公園 「京都トレーニングセンター構想」

園内の宿泊施設や恵まれた自然環境を生かし、中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点としてトレーニング機能を付加する施設の再整備

<主な再整備施設>

- ・トレーニングセンター (宿泊棟合築)
- ・補助競技場の人工芝化
- ・補助競技場の夜間照明設備の設置
- ・テニスコートの屋根設置
- ・テニスコートの夜間照明設備の設置
- ・陸上競技場第2種公認化整備
- ・グランドゴルフ場整備

■ 京都府立山城総合運動公園 「京都スポーツヒル構想」

広大な園地や都市近郊に立地していることから、府民のスポーツ活動拠点として、新たなニーズに応える施設の再整備

※当面の必要事業額 62 百万円 (国庫 31 百万円)

(H24～H28 事業費見込み 約 7 億円)

<主な再整備施設>

- ・弓道場 (遠的)
- ・陸上競技場の夜間照明設備の設置
- ・陸上競技場のスタンド屋根設置
- ・第2競技場の人工芝化
- ・テニスコートの屋根設置
- ・総合クラブハウスの設置

■ 広域防災拠点としての運動公園

上記の両運動公園については、広域防災拠点に位置づけ、警察や消防、自衛隊の救助部隊の集結場所、救援物資の集積配送場所として活用することとしている。公園施設の照明設備やグラウンドの人工芝化等、これらの活動がより円滑に行えるような整備を行う。

【京都府の担当部局】

文化環境部スポーツ振興室 075-414-4252

建設交通部都市計画課 075-414-5272